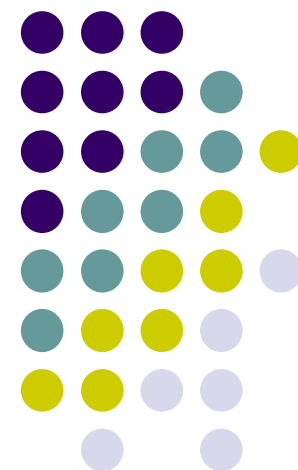


# 北九州市の インキュベーション施設と 国際化について

財団法人 北九州産業学術推進機構

ベンチャー支援部 部長 松木 和寿

平成20年4月30日



# 財団の紹介

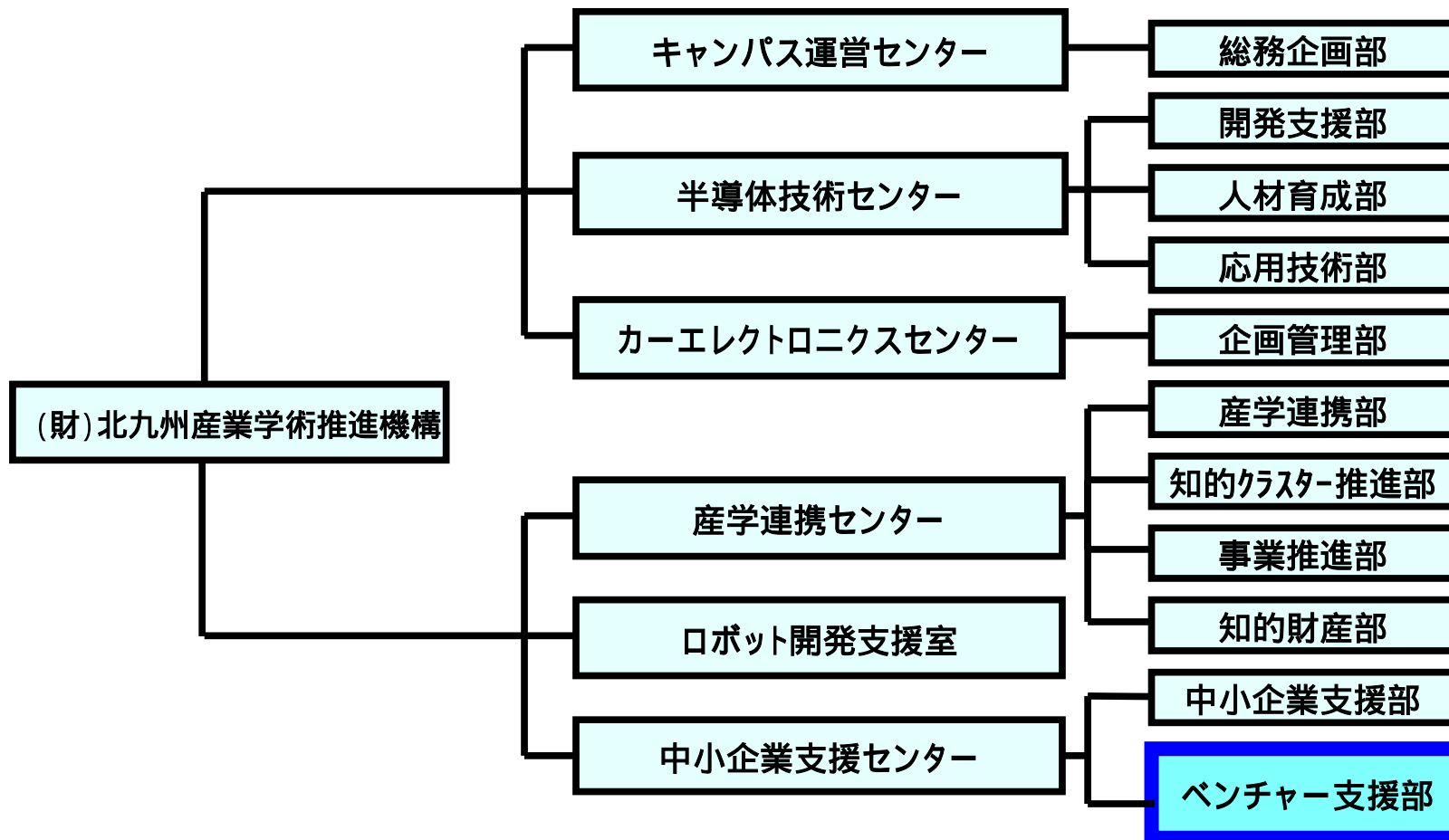


## 財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS)

(Kitakyushu Foundation for the Advancement of Industry Science and Technology)

- 設立:平成13年3月1日  
(財団法人北九州市産業技術振興基金(平成2年3月設立)を改組・拡充)
- 所在地:北九州市若松区ひびきの2-1
- 基本財産:8億円
- 理事長:阿南 惟正
- 職員数:107名 (H19年10月1日現在)
- 目的:北九州地域における産学官連携による研究開発及び学術研究の推進等により、産業技術の高度化及び活力のある地域企業群の創出・育成に寄与する。

# FAISの組織とは



# FAIS ベンチャー支援部の紹介



- インキュベーション施設への入居者相談
- 起業家支援・セミナー等の開催
- 市内5ヶ所のインキュベーション施設の管理運営



北九州テレワークセンター 九州ヒューマンメディア創造センター(エムサイト)

北九州テクノセンター 北九州市立起業家支援工場 学研事業化支援センター

上記、インキュベーション施設入居33社のベンチャー企業サポート業務を担当し、  
これまで、のべ70社以上の企業サポート実績。



# インキュベーションって、何？

インキュベーション：

**Business incubation = 日本語で、事業(企業)孵化**

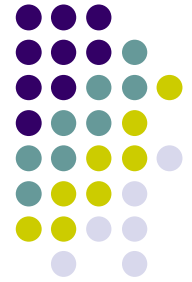
意味は、新事業創出支援。

すなわち、「新しい営利事業を作り出すための一連のシステムとの連携活動」のことで、**ハード・ソフト**の両面から新事業創出に必要な様々なサポートを行う事をいいます。

インキュベーション施設：

スタートアップ段階にあるベンチャー企業の支援を目的に貸オフィスなどのスペースや付帯施設・機器を低料金で提供するとともにインキュベーション・マネージャー等の支援人材は諸々の支援サービスを提供する「**起業家支援施設**」です。

# インキュベーション施設の場所



戸畑区九工大前 KTCビル内

1F 北九州市中小企業支援センター

若松区ひびきの 学研都市内



- ◆北九州学術研究都市  
産学連携センター
- ◆北九州市立起業家支援工場  
(北九州未来工房)



◆北九州テクノセンター



八幡西区 夕原町

- ◆北九州テレワークセンター
- ◆九州ヒューマンメディア  
創造センター eM サイト



小倉北区浅野 AIMビル内

# インキュベーション施設の特徴



北九州テレワークセンター

[対象]

情報通信関連



北九州テクノセンター

[対象]

ニュービジネス・サービス



HMC エムサイト

[対象]

マルチメディア・コンテンツ



事業化支援センター

[対象]

先端科学技術・共同研究開発



北九州市立起業家支援工場

[対象]

ものづくり関連

**\* ハード支援**

**起業家に低賃料のオフィスを提供**

# インキュベーション施設って、 何をしているところ？



- **起業支援** 創業から事業拡大期までの支援
- **起業風土**の醸成
- **海外インキュベーション施設との連携による国際化**
- 国・県・市、ベンチャー支援団体との連携
- 有望なベンチャー企業の発掘と施設PR



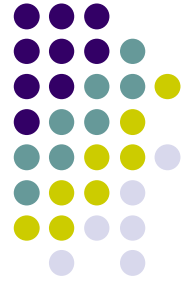


# 起業支援って何？

**入居企業**に対して、**創業時から事業拡大期まで**  
企業の成長ステージに応じた支援

- 経営安定化の支援
- 事業継続可能な売上を確保しながらの  
自社製品の開発支援
- 販路開拓及び事業拡大の支援
  - 商社等とのネットワーク形成(公的団体の信用力)
  - 地域中堅・大手企業との交流促進
  - 地域金融機関、ベンチャーキャピタル等の紹介

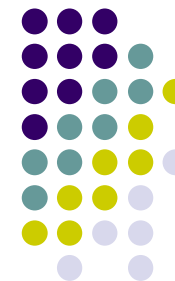
# 起業風土の醸成って何？



## 学生・若者へ起業意識の喚起

- 各種ビジネスセミナーを開催
- ビジネスプランの発表会を開催し、起業家の発掘・支援
- 「北九州アントレプレナー・クラブ」を創設し、起業家を発掘・支援する

# 海外インキュベーション施設との 連携による国際化って何？



経済のグローバル化は、  
中小企業の事業運営にも  
多大な影響を及ぼしつつあり、  
ベンチャー企業にとっても、  
外国企業との業務提携は、  
外部経営資源の活用として  
重要な経営戦略の一部と  
なっている。

北九州市のベンチャー企業は、東京より、アジアに近いという  
北九州市の「地の利」を生かしたビジネスを展開が可能である。

# インキュベーション施設の 国際化への取り組み



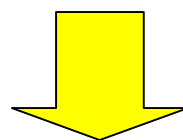
- 平成16年 6月 **KLIC** (北九州国際ITビジネス推進会) 発足
- 平成16年10月 北九州テレワークセンターが、AABIより、  
**アジアビジネスインキュベータの認定**を受ける
- 平成18年 9月 韓国建国大学創業支援センターと調印  
韓国インキュベーション施設との  
**交流事業**の開催
- 平成19年 9月 SBA (ソウル産業通商振興院)  
ソウル新技術創業センターと調印
- 平成20年 4月 韓国政府 **海外技術開発助成金**  
SBA入居企業との共同申請





# 活動成果

- インキュベーション施設間での情報交流
- インキュベーション施設との交流事業を開催
- 日・韓インキュベーション施設の相互利用
- 海外支援機関とのネットワーク構築
- ベンチャー企業グループ(KLIC)、北九州市貿易振興課、JETRO(国の機関)との一体なった、ベンチャー企業国際化支援施策の実施



インキュベーション施設が交流することにより、ベンチャー企業の国際化を支援し、海外企業との業務提携による事業拡大に繋がった。